

今月は
ショウガ

日当たりがあまりよくない場所でも育てられるショウガ。夏の暑さや乾燥に弱いので、地表の極端な温度上昇や乾燥を防ぐために、敷きわらやもみ殻などをまいて湿度を調節してください。



★家庭菜園の動画をYouTube「とびあch」で公開しています。ぜひご覧ください。

4 追肥・土寄せ



注意 下葉が埋まらないように気を付けましょう。



緩効性の化成肥料を株間にひとつかみ(約30g)ずつまきます。根を傷めないように気を付けながら土を寄せましょう。
1度目の追肥は6~7月に、2度目の土寄せは7~8月に行います。

2度目の土寄せの後、畝全体に水をかけ、わらを敷いて乾燥を防ぎます。再度水をかけ、わらにも浸水させましょう。

5 収穫



茎をつかんで上へ引っ張って収穫します。土が固い場合は、株元の土をスコップで掘り起こしましょう。



ショウガを2~3節ごと折り、根や土を取り除きましょう。葉付きショウガの場合は茎を10cm程度残して切り、貯蔵する場合は茎を切り落とします。

貯蔵方法

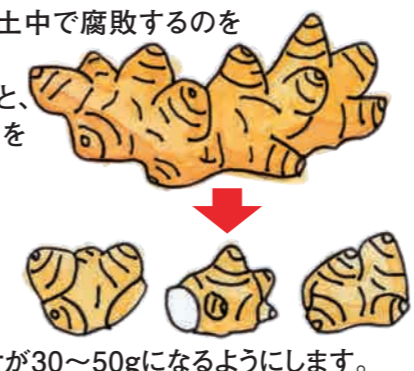


- ①発泡スチロールの容器にビニール袋を敷き、保温のために約3cmの深さまでもみ殻を敷き詰めます。
- ②ショウガを並べ、もみ殻をかぶせます。ショウガの数が多い場合は、数段に分けて並べましょう。
- ③隙間ができないようにビニール袋を閉じ、発泡スチロールのふたを閉めます。

気温15℃前後を維持できる室内で保管することで、翌年の春まで貯蔵することができます。

1 種ショウガの準備

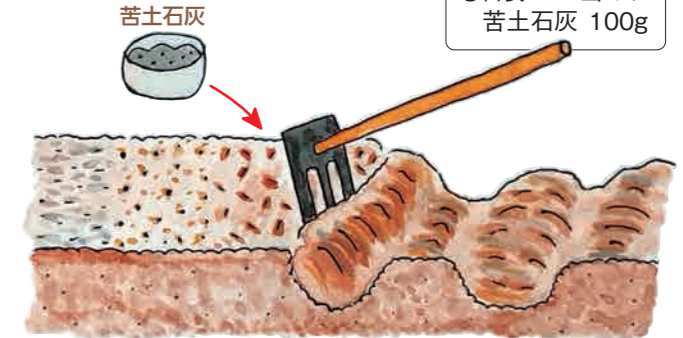
厚みがあり節の大きさがそろった種ショウガを選ぶことで、植え付け後に土中で腐敗するのを防ぎます。少し芽が出ていたり、発芽までの期間を短縮できます。



種ショウガを節のところで折り、一片が30~50gになるようにします。

2 畑の準備

植え付けの1週間前に苦土石灰を1㎡あたり100gまき、深く耕しておきます。



3 植え付け



配合肥料を1㎡あたり200gまいて再度耕します。目印の綱を張って深さ15cmの植え溝を作り、株間30cmで植え付けていきます。種ショウガの芽を上にして溝に置き、5~6cmの深さで覆土します。



ショウガは乾燥に弱いため、植え付け後は水をたっぷりがけましょう。敷きわらやもみ殻などを溝に敷くことで、湿度を保つことができます。

栽培カレンダー ショウガ	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
植え付け												
追肥・土寄せ												
収穫												